



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：2023年8月1日（第96号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

2023年度総会を開催しました

6月4日（日）、宇治田原町総合文化センター研修室1でエコパートナーシップうじたわらの2023年度総会を開催しました。

総会には来賓の皆様、会員や住民など総勢40名の方々にご参加いただき、2022年度事業報告、同決算報告、2023年度活動計画や予算案を審議しました。

役員の一部改選では、阪本伊三雄副会長が退任し、運営委員の岩瀬剛二氏が副会長に就任しました。

総会の後は京都府地球温暖化防止活動推進センター副センター長の木原浩貴氏に「見通せない電気代を見通す ～気候危機とエネルギー危機の中での身近な取組～」と題してご講演いただきました。

閉会後は参加者のみなさんに、「宇治田原町環境保全計画」策定の参考資料とするため、環境に関するアンケート調査を実施しました。

終了後、参加者の方からエコパートナーへの新規入会申し込みをいただきました。

今回の総会では、エコパートナー同様に環境保全活動に取り組む「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議」と「城陽環境パートナーシップ会議」からご参加いただき、後日、それぞれの総会へ参加するなど、交流の芽が育ちつつあります。

（事務局）



芦原会長によるあいさつ



講師の木原氏

木原氏による講演のポイント

- ・1973年以降、日本のエネルギー消費量はGDP（国内総生産）を上回っていたが、2007年以降は逆転。GDPは2020年までに2.4倍となったが、エネルギー消費量は1.1倍にとどまる。企業・事業所他部門は0.9倍となったが、家庭部門は1.9倍に。電化製品の普及や世帯数の増加が要因と思われるが、省エネ技術の進歩や節電意識の高まりから2007年以降減少に転じている。
- ・昨年、電気事業者が電気料金の値上げを申請したが、その後の審査で、政府による激変緩和措置などを加味すると、北陸と沖縄電力以外は値下げとなった。
- ・日本の電力供給量に占める再生可能エネルギーは2割ほどで、大半を化石燃料が占める。一方、イギリスは化石燃料の割合が4割弱。
- ・日本は海外からの化石燃料の輸入に33.5兆円（2022年）を費やし、同年の国家予算（約110兆円）の3分の1にも匹敵する金額が海外に流出している。どうすればこれを地域に回すことができるか？
- ・2015年の「パリ協定」採択、日本でも2050年までの温室効果ガス排出量を実質0とする「カーボンニュートラル」を宣言。今後、企業や公共施設での再エネ導入が加速していく。
- ・2020年度の日本の部門別二酸化炭素排出量の割合は産業部門が34%、運輸部門が17.7%、業務その他部門が17.4%、家庭部門が15.9%。排出量の削減には、割合の高い部門への対策が重要。

（事務局）

家庭でできる省エネ術

エアコン

- ・ 室外機を遮光し（風通しはよく）周辺温度を5℃下げると、42%もの節電効果がある！
- ・ 短時間でつけたり消したりしない、つけっぱなしの方が節電
- ・ フィルターを掃除する（詰まっていると効きが悪くなる）
- ・ 風量は「自動」が効率的、風向きは「上向き」に（下向きは暑い空気がたまる）

冷蔵庫

- ・ 横に紙などを貼らない。放熱板をふさぐことになる
- ・ 物を入れすぎたり、しょっちゅう開閉しない

照明

- ・ 短時間でも部屋などを離れる場合は消灯する → こまめな省エネは効果的

最近は太陽光発電や蓄電池の設置費用が下がってきている。昼間に発電した電気を貯めて、夕方などの電力ひっ迫時間帯に使用する。

→ 京都府では自宅の屋根に太陽光発電設備を事業者を設置してもらうことで初期費用を0円とする「京都0円ソーラープラットフォーム」を展開されています。

（事務局）

エコパートナーシップうじたわらでは、いっしょに活動する会員を募集しています。

肩ひじ張らず、気軽に、自分のできる範囲で参加するのがエコパートナーの特徴です。関心のある方は役員や会員、事務局までお気軽にお申し出ください。

◆会員の区分

- ・ 個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・ 団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・ 賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・ 個人会員・団体会員については、無料です。
- ・ 賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・ 入会申込書（町HPエコパートナーのコーナー）に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・ 広報部会・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・ 自然・生活環境部会・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・ 循環型社会・地球温暖化防止部会・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等、エコクッキング等

エコパートナーシップうじたわら賛助会員

濱田プレス工藝株式会社

宇治田原町 宇治田原工業団地管理組合 須河車体株式会社
宇治田原町区長会 宇治田原町森林組合 宇治田原町商工会

エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設環境課内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口 18-1

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場HP「MENU（暮らし・手続き）」⇒「生活・環境」⇒「エコパートナーシップうじたわら」



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原